

無所属市民派

瀬野

情報公開と市民参画をめざして



# せの喜代の 区議会ノート

介護  
子育て  
環境

区議会での会派は民主党・市民の会です

2012・秋

第41号

<http://senokiyo.main.jp/s11/> ホームページは【せの喜代】で検索してください

〒116-0013 荒川区西日暮里2-13-8 TEL/FAX:03-3891-0203 E-mail:senokiyo@yahoo.co.jp

区議会ノートあるいはミニ通信を本会議開催ごとにお配りしています。毎号の購読をご希望の方はぜひご連絡ください。ホームページは随時更新していますので、こちらもぜひ、ご覧ください。

## 地震に強い街づくりを急げ

予想される首都直下型地震に備えて、区も防災まちづくり部をあげて取り組んでいるが、特に予算執行率の低い事業は以下のとおり。

- ◎ 12.9% 区民組織への応急 活動資器材の整備費助成  
& 災害時地域貢献優良建築物認定事業  
(水害時等に一時避難先として認定 現在5ヶ所)
- ◎ 17.0% ブロック塀等耐震改修促進事業  
(倒壊が心配な区内234箇所の撤去費用助成)
- ◎ 22.0% 非木造建物耐震化推進事業  
(旧耐震基準で建設されたマンション429棟=分譲73・賃貸356に耐震アドバイザー派遣・耐震診断・設計・工事補助)



必要な人に正しい情報が届くよう、きめ細かく区民の理解を得る努力を!

決算委員会から

地震の停電時、家を離れる時は

「ブレーカーを落とすべし」を知っていますか?

知っていたのは、区民110人のうち、たったの9人でした。



電気が復旧した時、家庭内に電流が流れ込んだ結果、電気器具の損傷などで火災が発生することを通電火災という。水道の復旧は電気より遅いので、火を消すことができず、被害が大きくなるといわれ、阪神淡路大震災では、通電火災が多発し、熱帯魚の水槽から発火した例も多いと報告されている。

木造密集地の荒川区では、初期消火を心がけること、と同時に、通電火災の知識を持つことも必要。

通電火災について知っている人が1割以下というのでは、困ったものだ。区民にもっと通電火災の恐ろしさを伝え、注意喚起をする必要があること、自動的にブレーカーが落ちる装置について研究することを要望した。

震災対策調査特別委員会から

第4回定例区議会は11月29日～12月12日です